

中学部 1年生 社会 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名 (仮) *各教科等を合わせた指導で行う
ア 社会参加ときまり 生活単元学習 (ア) 社会参加するために必要な集団生活に関わる学習活動 ㊦ 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けること。 ㊧ 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現すること。	*基本的には、ア、イについては、特別支援教育独自。 必要な内容としては、P282以降の解説を参考。 キーワード ・身近な家庭、学校、地域社会 ・学級内、学校での係活動、当番、 ・学校内の基本的なルール ・通学路にある標識 ・公共施設の利用、役割と名称 ・日常生活に関係する制度や行政サービス(例:医療保険制度、障害者福祉に関する制度)等。
ア 社会参加ときまり 生活単元学習 (イ) 社会生活に必要なきまりに関わる学習活動 ㊦ 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが分かること。 ㊧ 社会生活ときまりとの関連を考え、表現すること。	・身近な家庭、学校、地域社会 ・学級内、学校での係活動、当番、 ・学校内の基本的なルール ・通学路にある標識 ・公共施設の利用、役割と名称 ・日常生活に関係する制度や行政サービス(例:医療保険制度、障害者福祉に関する制度)等。
イ 公共施設と制度 生活単元学習 (ア) 公共施設の役割に関わる学習活動 ㊦ 身近な公共施設や公共物の役割が分かること。 ㊧ 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現すること。	・日常生活に関係する制度や行政サービス(例:医療保険制度、障害者福祉に関する制度)等。
イ 公共施設と制度 生活単元学習 (イ) 制度の仕組みに関わる学習活動 ㊦ 身近な生活に関する制度が分かること。 ㊧ 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現すること。	*中学部2段階につながるように理解まででよい。 他、内容から、各教科等を合わせた指導等で学ぶ機会が考えられる。
ウ 地域の安全 教科別の指導 (ア) 地域の安全に関わる学習活動 ㊦ 地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが分かること。 ㊧ 地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現すること。	「くらしを守る」*小3 ①火事からくらしを守る ②事故や事件からくらしを守る。 *消防署や警察署中心に。
エ 産業と生活 教科別の指導 (ア) 仕事と生活に関わる学習活動 ㊦ 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることが分かること。 ㊧ 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。	「はたらく人とわたしたちのくらし」*小3 ①農家の仕事 ①工場の仕事 *南相馬市の地域性から、一つ選択
オ 我が国の地理や歴史 教科別の指導 (ア) 身近な地域や市区町村(以下第2章第2節第2款において「市」という。)の様子に関わる学習活動 ㊦ 身近な地域や自分たちの市の様子が分かること。 ㊧ 都道府県(以下第2章第2節第2款第1〔社会〕(2)内容において「県」という。)内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。	「わたしのまち みんなのまち」*小3 ①学校のまわり ②市の様子